

外部第三者評価結果報告書

1 外部第三者評価の実施体制

(1) 事務局の構成

区分	所属	職名	氏名
事務局長	営農支援課	課長 支援監 班長 主任技師	能登 拓 宮城 早苗 渡慶次 努 具志 明

(2) 外部第三者委員会の構成

区分	所属	職名	氏名
学識経験者	琉球大学農学部	教授	内藤 重之
マスコミ代表	フリージャーナリスト	—	崎山 律子
消費者代表	野菜ソムリエ	上級プロ	徳元 佳代子
先進的な農業者	八重山地区農業士会	会長	伊盛 米俊
若手・女性農業者	八重山地区農業士会	副会長	眞榮城 美保子
農業関係団体	JAおきなわ八重山地区 営農振興センター	農産部長	山根 聡
民間企業	石垣島製糖	農務部次長	黒島 善則

2 外部第三者評価の実施実績

(1) 農業改良普及センター（課）

八重山農林水産振興センター農業改良普及課

(2) 外部評価の手順

時期	実施事項	場所
令和5年 4月28日	評価実施センター選定（八重山）	県庁9階ワーキングチーム会議室
9月11日	八重山農業改良普及課への説明	農業技術情報センター
9月28日	第三者外部評価委員への事前説明	農業技術情報センター
10月6日	第三者外部評価委員への事前説明	農業技術情報センター
10月12日	第三者外部評価委員への事前説明	八重山農業改良普及課会議室
11月9日	現地調査（八重山）	八重山農業改良普及課等
11月～2月	評価結果取りまとめ	評価委員

(3) 外部第三者委員会の具体的な進め方と内容等

八重山農林水産振興センター農業改良普及課

時 間	進め方と内容等	説明資料名	説明者
	11月9日(木)		
8:30	現地調査 1. 担い手(施設野菜栽培) 2. 女性農業者(畜産と加工) 3. 新規就農者(露地野菜) 4. 果樹(マンゴー栽培)	評価委員会資料	農業改良普及課
13:00	委員の紹介		営農支援課
13:05	普及活動の概要		農業改良普及課
13:30	普及活動事例発表 1. 与那国町における畜産経営の課題について 2. ゴーヤー産地の育成～育てる、守る、つなぐ、持続可能な挑戦～		農業改良普及課
14:20	委員聞き取り		評価委員
15:10	委員評価内容検討		評価委員
15:50	委員評価・感想		評価委員会会長
16:05	閉会		

(4) 外部第三者評価委員会における評価された事項、改善すべき点として指摘された事項

八重山農林水産振興センター農業改良普及課

項目	評価された事項	改善すべき点として指摘された事項
<p>I 普及指導計画及び課題設定について</p>	<p>○国や県の計画等を踏まえつつ、管内の農業関係機関・団体・農業者代表で構成される普及事業推進協議会等で検討を行うなど、適切に普及指導計画が策定されており、具体的な課題設定がなされている。</p> <p>○地域農業の状況や前年度の活動評価を踏まえて普及指導計画の策定や課題設定が行われているとともに、課題ごとに具体的な成果目標が設定されている。</p> <p>○石垣島を中心に西表島など竹富町の離島さらに駐在員を置く与那国町と数多くの離島を抱えて広範囲のエリアを効率的に活動している。</p> <p>○与那国においては特にJAとの連携、調整がよく行われている。</p> <p>○農家からアンケートを取るなど、具体的に情報、要望を分析し支援していた。</p> <p>○若い担い手の確保においては、よく努力している。</p> <p>○地域にあった作物の選定がされている。</p> <p>○目標においても無理な設定をしていない。</p>	<p>○（伝達方法、人材の発掘・活用） 普及センターが掲げた具体的な普及課題で持続可能な農業生産について「資源循環型農業」など現場への伝達には工夫が必要。又、魅力と活力ある農村の振興については、リーダーとなる人材の発掘と活用を多面的に行ってもらいたい。</p> <p>【改善策】 「資源循環型農業」に関しては、土壌分析に基づいた堆肥施用等、耕畜連携を含めて取り組んでいるところであり各種講習会等も活用しながら情報発信に努めてまいります。</p> <p>地域リーダーの活用としましては、八重山地区農業士会を中心に、農大生の派遣実習や研修生の受け入れ、新規就農講座における講師等担い手育成支援活動を推進しているところであります。また、今年度も3名の青年農業士を認定するなどリーダーとなる人材の発掘、育成にも継続して取り組んでいく所存です。</p> <p>○（引継体制） 前年度の活動評価や農家の情報や課題などを引き継ぎ、日々努力しながら活動していると思われるが、3年ほどで異動となると前任者が培ってきたコミュニケーションや情報を引き継げない部分もあるのでは。新任と前任者の引き継ぎの期間を長くし情報共有することで、農家も新任も一から始めるストレスや時間軽減になる。</p> <p>【改善策】 普及課では、各担当・課題毎に普及計画を作成、その計画に基づき日々活動し、年度末には活動を評価し次年度の計画を作成している。計画には地域の課題や活動の経過、重点指導対象などが記載されています。また、日々の活動については詳細な記録を残しており、担当が変わる場合はこれらが引き継がれていく。特に指導対象農家については、新任と前任で直接農家を訪れしっかり引き継ぐよう取り組んでいます。今後とも組織的継続的な活動体制が図れるよう、職員の異動の際の引継ぎについては、しっかり取り組んでまいります。</p> <p>○（関係機関との情報共有） 国、県、JA、農業委員会の連携においてはもっと密にし、情報の共有化を図る方がいいと思います。</p> <p>【改善策】</p>

<p>○緻密な計画が立てられている。毎年発生するであろう課題や問題点もその都度も少しずつクリアし改善している。</p> <p>○ニーズに合った課題に取り組み、目標に向けた農業者への的確な支援を行っている。</p> <p>○課題及び計画は適切であった。</p>	<p>国との連携につきましては、各種説明会への参加等により情報の収集に努めてまいります。また、毎年普及事業推進協議会を開催し、市町、JA、農業委員会等関係機関と情報の共有化を図っているところです。ご意見の通り、国、JA、農業委員会との連携を密にするよう取り組んでまいります。</p> <p>○（協議会の活用） 定期的に協議会を持ち農家も交えながら課題等の解決を図る方がいいと思います。 【改善策】 各品目において産地協議会等を活用し、生産者を交えながら生産振興に努めてまいります。</p> <p>○（関係機関との連携） 各機関との連携はあまり感じられない。それぞれが縦割りになっていると感じる。技連会など全く機能していない。無駄。特に普及課に関しては農業委員会との緊密な連携が望まれる。 【改善策】 今年度は八重山畜産技術員連絡協議会にて、普及課を中心に「牛農家の個別成績表」の配布や各種経営講習会等を開催し、関係機関と連携しながら取り組んでいるところです。また、農業委員会につきましては、農でグジョブ推進会議や新規就農講座を通じ新規就農者に直接情報提供頂く等連携をしているところです。今後とも各機関との関係強化に向け努めてまいります。</p> <p>○（関係機関との連携） 各関係機関との連携の強化を行い、農業者への支援に繋げてほしい。 【改善策】 地域の農業に合わせた課題を関係機関、団体等としっかり共有するよう努めます。また農業者の課題解決に向けた支援につながるよう、これまで以上に関係機関、団体等と連携強化を図ってまいります。</p>
---	--

項目	評価された事項	問題点として指摘された事項（改善策も含む）
<p>II 組織的、継続的な活動について</p>	<p>○国や県の研修と併せて職場での実践的なOJT研修を実施したり、調査研究を行ったりするなど若手の育成を中心とした資質向上の取組がなされている。</p> <p>○LINE等ITを活用した情報発信が行われており、</p>	<p>○（人員不足） 農家指導カードやプロジェクトチームを活用した組織的かつ継続的な活動方法が構築されている点は評価できるが、管内農業産出額の約7割を畜産が占めているにもかかわらず、畜産担当が1名のみであるなど、全体的に普及指導員の人員が不足している。 【改善策】 職員の配置については、普及課の定数の中で各担当を割り振りしながら配置しております。畜産担当については関係機関との連携を深め効率的・効果的な</p>

<p>管理体制も適切である。</p> <p>○普及課題である担い手の育成では新規就農者、青年農業者の育成に指導員の活動が繋がっている。</p> <p>○関係機関との連携を取りながら資質向上に努めている。</p> <p>○情報管理は同意書を取り適切に管理している。</p> <p>○指導員は元々知識があり尚且つ課題についての取組が積極的。</p> <p>○各種研修を活用、外部有識者を活用して資質向上に取り組まれている。</p> <p>○少ない職員数の中で、離島も抱えながら多くの業務をこなし、農業者支援を行っている。</p>	<p>活動ができるよう取り組んでいます。人員配置については、ベテラン職員の配置など、主務課、部局等と連携し適切な人員配置に向けて取り組んでまいります。</p> <p>○（有識者の活用について） 八重山は肉用牛の生産が盛んであるにもかかわらずプロフェッショナルな普及員が圧倒的に少ない。 【改善策】 普及に配置された若手については、県での専門技術研修や職場でのOJT研修など、早期育成を図っております。プロフェッショナルなベテラン職員の配置など、主務課、部局と連携し適切な人員配置に向けて取り組んでまいります。</p> <p>○（人員不足） 特に畜産においての人員不足が気になるところがある。 【改善策】 人員配置については、ベテラン職員の配置など、主務課、部局等と連携し適切な人員配置に向けて取り組んでまいります。</p> <p>○（情報共有） 指導員の情報及び技術の共有、引継ぎを図るといいと思います。 【改善策】 指導員の情報及び技術の共有、引継ぎを図り、組織的継続的な活動体制が図れるよう、しっかり取り組んでまいります。</p> <p>○（情報提供体制） LINEなど活用しているが、まだ普及浸透するには至っていない。相談者の方が情報を持っていることが多く感じる。もう少し農家に迅速に情報提供できるシステムを構築して欲しい。 【改善策】 普及活動や農業技術、講習会等の情報について普及便りやホームページ、LINEなどを活用し、情報発信に務めてまいります。また、情報収集に努め農業者のニーズに応えるよう取り組んでまいります。情報を迅速に提供できるシステムについては、課内で検討してまいります。</p> <p>○（人員） 離島を抱えていることから、職員数を増やすなどの体制作り・組織強化を図ってほしい。 【改善策】 離島への効率的・効果的な支援のための体制作りを検討するとともに、ベテラン職員の配置など、主務課、部局等と連携した組織強化に取り組んでまいります。</p>
--	--

		<p>ます。</p> <p>○（引継体制） 継続的な体制としては、人員の引継ぎができるような体制が望ましいと感じた。</p> <p>【改善策】 組織的継続的な活動体制が図れるよう、職員の異動の際の引継ぎについては、しっかり取り組んでまいります。</p>
--	--	---

項目	評価された事項	問題点として指摘された事項（改善策も含む）
<p>Ⅲ 普及活動成果及び評価手法について（活動成果について）</p>	<p>○班会議等を実施することによって適切に進行管理が行われているとともに、10月の中間評価及び年度末の年度評価の実施、「普及のあゆみ」の発行などによって内部評価も的確に行われている。</p> <p>○令和2年度と3年度はコロナ禍の影響がみられるが、令和4年度については概ね成果目標は達成されている。</p> <p>○農業者の指導員に寄せる信頼感には強い絆を感じた。</p> <p>○農業者の意向やビジョンに基づき、真摯に支援し、信頼関係が構築されている。</p> <p>○農家に足繁く通って課題についてよく取り組んでいる。農家の信頼も厚いと思われま。</p> <p>○よく農業者との連携がとれていて、普及員も農業者の情報に詳しい。</p> <p>○新規就農者への対応や、担い手への支援がなされており、信頼関係が構築されていると感じま</p>	<p>○（ワンストップ窓口） 支援を受けている農業者との信頼関係は素晴らしいが、支援や情報を求めている農家にとって窓口がわかりづらい。他部門との連携を密にしワンストップの窓口を作れないか。</p> <p>【改善策】 農業者のみなさんに相談窓口として周知するようSNSやホームページ等を活用し取り組んでまいります。ワンストップ窓口につきましては、課内における連携を強化し他部門からの情報収集に努め、関係機関とも連携することで、スムーズな対応を行うよう全職員心がけてまいります。</p> <p>○（業務のPR） 特定の農家ばかりではなくもっと幅広く指導を拡大して欲しい。人員不足は理解していますが農家の繋がりも利用して多くの人に指導員の事をピーアールしてください。</p> <p>【改善策】 普及指導員は普及計画の中で指導対象とする農業者や団体を設定しており、指導対象者への巡回等が増えることが多くなりがちになります。関係機関との共同巡回や組織への講習会等を通じて広く農家への指導を心がけていますが、更に意識を高めて幅広い指導をしてまいります。また農業者間の繋がりの中でも相談のある農業者が、普及へ連絡いただけるよう発信に努めてまいります。</p> <p>○（指導対象者） 一部の限られたよく知っている、かつ優秀な農家だけピックアップされているので、実情はよくわからない。</p> <p>【改善策】 普及では普及計画の中で指導対象とする農業者や団体を設定しています。対象の中には技術力・経営力の高い農業者から新規の農業者まで幅広く対象とするように心がけており、できるだけ偏りのないよう努めているところです。ご指摘の点について、こ</p>

した。		<p>れからも普及の活動が広く周知されるよう心がけてまいります。</p> <p>○（産地育成） 与那国等離島の課題を的確にとらえており、今後の課題に向けての取り組みを期待したい。</p> <p>【改善策】 離島振興につきましては、地域の課題を分析し関係機関と連携しながら必要な取り組みについて強化に努めてまいります。対面指導を増やしたりWebを活用した講習会を行うなど、離島の農業者の皆さんにも十分な情報提供を行えるよう取り組んでまいります。</p> <p>○（指導業務） 地域の農家との顔合わせができなく不安している農家がいるとの声もあったため改善が必要と感じた。</p> <p>【改善策】 関係機関との連携により講習会や現地検討会等を広く周知することで、農業者の皆さんが集まりやすい機会を設定するよう努めてまいります。</p>
-----	--	---

項 目	委員意見（改善策も含む）	
（普及活動について）	○生産資材の高騰や関税削減などによって農業経営を取り巻く環境は厳しさを増しており、普及活動の役割はより重要性を増している。新型コロナ禍でオンライン化が進んだとはいえ、普及事業は現場で実際に対応することが重要な場合が多いが、八重山地域は多くの離島からなり、多くの移動時間を要すること、島ごとに多様な農業が行われていることなどから、普及指導員の人員確保（増員）と適切な配置が不可欠である。特に八重山地域では畜産は農業産出額の約7割を占めていることから、たとえ農業経営担当者のフォローや家畜改良協会との連携などがあっても若手の担当者1名で全域の全畜種をカバーするのは困難であり、継続的な活動体制を確保するという観点からも、複数人体制や経験豊富な職員の配置がぜひとも必要であると考えられる。	<p>【改善策】 普及指導員の人員確保、適切な配置、複数人体制、経験豊富な職員の配置、離島の効率的・効果的な指導体制の検討など、主務課、部局等とも連携しながら適切な人員配置、組織体制となるよう取り組んでまいります。</p>
（青年農業者の育成について）	○現地調査で八重山トップのオクラ生産者、青年農業士の土橋玄さん長崎出身。農業そのものが目的ではなく農業を通して世界の貧困、子供たちの問題を解決したいという「志」に強く心打たれた。こういう沖縄から世界へと視線を向ける青年農業士の存在を次世代へつなげる“メディア”として普及センターには活動して頂きたい。	<p>【改善策】 八重山地域には頑張っている青年農業者がたくさんいます。また、青年農業者をリーダーとして育成するためにも農業者の取り組みについて発信してまいります。</p>

<p>(農業者育成について)</p>	<p>○白保の宮良牧場では、空港問題で分断された「白保」地域を取り戻すため非農家から挑戦する母と息子の畜産経営に「土地の力」を見た。地元愛から切り開く畜産経営、繁殖から肥育・加工に取り組む女性リーダーは、普及センタースタッフともっと密な情報交換を期待している。広範囲と少人数の中で、「人材の芽出し」を大切に育てる機関となってほしい。</p> <p>【改善策】 幅広く農業者への指導を継続するとともに、臨機応変に注力すべき農業者や団体に対して、必要な情報提供や相談対応をおこない、次代の農業者育成や6次産業化の支援に努めてまいります。</p>
<p>(相談窓口について)</p>	<p>○離島が多いのに、圧倒的に普及員の数が少ない。支援を受けたい農家は多くいると思われるが、相談の窓口がわかりにくい上に、現況では普及員の負担も大きい。このような中、見えないところで多大なる尽力をしていることに敬服します。</p> <p>【改善策】 組織強化を図りながら、今後とも農家支援に努めてまいります。</p>
<p>(エコファーマーについて)</p>	<p>○エコファーマーの認定者数が多いのは素晴らしい。しかしメリットが分かりづらい中、JAではエコファーマーのコーナーを作って、差別化しているとの報告があった。消費者にもエコファーマーの意味や利点ができるよう、もっとアピールする工夫が必要。</p> <p>【改善策】 エコファーマー制度については関係機関と連携しながら消費者への周知に努めてまいります。</p>
<p>(関係機関との連携、補助事業について)</p>	<p>○新規就農者にとっては農業を始めることは、とてもハードルが高くわからないことだらけです。国、県、市、農協、農業委員会等の連携をとって農地の確保、遊休地の流動化を推進してほしい。また補助事業においても常に作物ごとのメニューを提示して農家に適正な判断を促してほしい。</p> <p>【改善策】 普及課としましては、新規就農者及び就農志向者について重点的に支援を行っているところです。農地の確保等につきましては農業委員会など関係機関と連携を強化し推進してまいります。また、各種補助事業の情報提供に努めます。</p>
<p>(普及員の人材育成について)</p>	<p>○新規指導員の技術向上のためベテランの指導員とのマッチングは重要だと考える。人手不足は重々理解していますが農家の就農拡大と指導員の人数は車の両輪とされます。</p> <p>【改善策】 普及課としましては、若手職員に対するトレーナー制度活用やOJT研修による資質向上に取り組んでいます。また、プロジェクトチームを組むことにより若手職員とベテランをマッチングし、普及手法の取得に努めてまいります</p>
<p>(収益を得るための支援について)</p>	<p>○農業は職業であり生活の糧である。農家が農業をすればいいではなく他業種に比べて収入が同格又はそれ以上を目指さなければ農業をする人は減少していくと思います。農家計画においてもそういう目標とモチベーションを持つことが大事だと思います。補助事業を取ることが目標ではなくそれを利用していかに利益を出すことが大事だと思う。事業の達成がなされているかこまめに検証することが求められると考える。</p> <p>【改善策】</p>

<p>(指導体制の強化について)</p>	<p>「補助事業を取ることが目標ではなくそれを利用していかに利益を出すことが大事」とのご助言のとおり、普及課としましても経営コンサル活動を通じて農家の経営内容を把握し、事業の達成にむけた支援に努めてまいります。</p> <p>○会議の場でも、また例年意見が出るようだが、畜産分野で、八重山の畜産農家700戸、30000頭をカバーできうる人員が足りていない。今年度は課長が畜産分野ということでフォローしやすいとは思いますが、現状農家で普及員を認識している人がどれだけいるのか疑問。新任、中堅、に関わらず、まずは農家への認知度を上げて下さい。勉強会の開催なども本人が話せないとしても、県内の他地区の普及員を活用するなり何なりできるでしょう。その中で与那国の普及員さんの活動は、現状に即しており、また改善効果が徐々に出てきており非常に評価が高いと思います。頑張ってください。</p> <p>【改善策】 畜産担当普及員の指導活動については営農支援課の専門員をはじめ、家畜保健衛生所やJA等の関係機関とも連携し、講習会等の開催をとおして広く認知されるよう努めてまいります。与那国の活動も、成果に繋がるよう継続して努めてまいります。人員配置については主務課、部局等と連携し適切な人員配置に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>(課題設定について)</p>	<p>○事業や、計画ありきで動いており、臨機応変な対応がしづらいのではないかと。農家のニーズを細かく拾えているか？相談ベースでしか対応していない気がする。もう少し積極的に現場に足を運んで「何か困っていることは無いですか？」と訪問できたら良いですね。畜産の技術指導においては、ここ十数年ほとんど草のことしかやっていない。草の話は聞き飽きました。草以外にも技術で必要な面は沢山ある。もっと勉強して現場に入ってください。どうやったら牛が大きくなるか。害虫、害獣対策。敷料不足。どのようにコストを抑えられるか。など農家が本当に何に困っているのか声をもっと聞いて下さい。</p> <p>【改善策】 普及活動は国県の施策や事業と連携するとともに、現場での課題収集と農業者の意見等を基に実施するよう心がけているところです。その中で冬場の牧草不足対策を重点的に指導している状況ではありますが、ご指摘のとおり、多岐にわたる畜産の技術指導が十分に実施できていない部分が生じていると考えています。今後は普及指導員のさらなる技術力向上を図るとともに農業者の声にしっかりと耳を傾け課題を検討し、関係機関とも協力連携して課題の解決に努めてまいります。</p>
<p>(農家との関わり方について)</p>	<p>○新規就農者への掘り起こし、フォローアップ、などはしっかりなされており高く評価します。作物の販売、販路開拓、また六次化への誘導など、普及員自身の人脈や経験などを活用されているように感じました。農家は悩み事を一緒に考えてくれるだけで嬉しいものです。農家はほとんどが個人事業主で、経営に関しても相談相手は少ないため、良い形でのメンターになってくれていると思います。</p> <p>【改善策】 普及課としましても、各種研修による普及指導員の資質向上、人材育成に努め、農業者の皆さんに寄り添う姿勢で日々の業務に取り組んでまいります。</p>
<p>(人員配置について)</p>	<p>○視察させて頂いた農家と職員との信頼関係が感じられ、良好な状態であった。少ない人員にてギリギリの対応をされており本当に頭が下がる思いであった。いろいろ勉強になった。県全体での問題であるが、必要な人員を割り当てられていない状況が心配であった（職員が重労働となっていないか？いろ</p>

異なる農家（新規含む）と対応をしないとまらない状況から、やりがいでだけではカバーできないストレスがあるのでは？）本当にご苦勞様です。ありがとうございます。

【改善策】

普及指導員の人員確保、適切な配置、経験豊富な職員の配置など、主務課、部局等と連携し適切な人員配置に向けて取り組んでまいります。

3 外部第三者評価の説明・提出資料名一覧

①事前説明会資料

沖縄県普及事業外部第三者評価実施要領
沖縄県普及事業外部第三者評価委員会設置要領
普及事業の概要と普及活動評価の仕組みについて
令和2年度普及事業外部第三者評価実施結果報告書（八重山）
農業改良普及課事前提出資料
（普及指導基本計画書（R2～R9）、普及活動計画書（R2～R5年）・年度評価書（R2～R4年）
・普及活動実績（R2～R4）・八重山地区農業改良普及推進協議会検討経過報告書（R3～R5））

②八重山農林水産振興センター農業改良普及課

委員会資料

4 その他特記事項

特になし